

1. 第一の障壁を乗り越えるためのアクションリスト

第一の障壁を乗り越えるための管理チームのアクションリスト
<構想> ☐ 管理チームが特定行為研修制度を理解する ☐ 修了看護師を導入する組織の目的を文書化する ☐ 修了看護師の活用ビジョンを策定する ☐ 策定した修了看護師の活用ビジョンを合意する ☐ 修了看護師配置ビジョンを策定する ☐ 特定行為研修受講者の選定基準を明確にする ☐ 管理者から修了看護師に組織が期待する役割を説明する ☐ 具体的な役割モデルを提示する ☐ 自施設・自部署での患者のニーズと必要な特定行為を把握する ☐ 修了看護師の実践範囲を明確にし組織として合意する ☐ 修了看護師の活動のために組織的に準備する ☐ 指定研修機関になるか外部研修に派遣するかを組織的に決定する
<育成> ☐ 学習に必要な PC の手配、部屋の確保など受講者の学習環境を整備する ☐ 受講者への経済的サポートを行うかどうかを組織的に決定する ☐ 受講中の受講者の勤務条件を明確にする ☐ E-learning のための研修日を確保するかどうかを組織的に決定する ☐ E-learning のための研修日を確保する場合、時間数を決定する ☐ 演習および実習のための研修日を確保する ☐ 学修継続が可能な勤務体制をつくる ☐ 受講者がいる部署の看護管理者の役割を明確にする ☐ 受講者を指導する医師の役割を明確にする ☐ 育成に関して医師の協力体制をつくる ☐ 受講者の学習意欲が維持するように支援する ☐ 受講者が活動ビジョンを明確にできるように支援する
<配置> ☐ 管理チーム内で配置の目的を明確にする ☐ 修了看護師配置決定の責任者を明確にする ☐ 修了看護師配置の優先順位に関するルールを決め組織的に合意する ☐ 修了看護師の希望と組織的優先順位をすり合わせる

第一の障壁を乗り越えるための医師のアクションリスト

<構想>

- ☐ 医師管理者が制度を理解する
- ☐ 指導医師が指導者講習会に参加し制度を理解する
- ☐ 医師が制度を理解できる機会を組織として作る
- ☐ 組織的に修了看護師を導入することを受け入れる
- ☐ 修了看護師の導入の目的を明確にする
- ☐ 医師として修了看護師への役割期待を明確にし、組織、修了看護師と合意する
- ☐ 組織の修了看護師活用ビジョンを合意する
- ☐ 特定行為の実施条件を合意する
- ☐ 修了看護師の実践範囲を明確にして手順書に反映させる
- ☐ 実践範囲を修了看護師と合意し協働して手順書を作成する
- ☐ 修了看護師と合意した実践範囲が組織的に承認されるようにする
- ☐ 指定研修機関となるかを検討し決定する
- ☐ 組織の育成ビジョン形成に協力し合意する
- ☐ 受講者選定基準を明確にして組織的に合意する
- ☐ 組織的な配置ビジョンの形成に協力し合意する

<育成>

- ☐ 受講者の準備性を理解する
- ☐ 受講者の受講動機、背景を理解し配慮する
- ☐ 受講者に学習機会を提供する
- ☐ 医師の負担に配慮した役割分担を行い、指導医を確保する
- ☐ 修了看護師（もしくは相当の看護師）と医師が協働で指導する
- ☐ 医療安全に配慮した指導を行う
- ☐ 受講者の学修継続に配慮した支援を行う
- ☐ 研修後の受講者の活動を見越した指導を行う

<配置>

- ☐ 修了看護師の配属先の情報収集を行う
- ☐ 配置決定ルールを診療科間で合意する
- ☐ 配置後の医師によるフォローアップ体制を作る
- ☐ 自律した実践の判断基準を作り組織として合意する

第一の障壁を乗り越えるための修了看護師のアクションリスト

<構想>

- ☐ 役割モデルを得て受講動機を自覚する
- ☐ 組織内での修了看護師としての活動ビジョンを明確にする
- ☐ 組織の活用ビジョンを合意する
- ☐ 受講目的を明確にする
- ☐ 組織の育成ビジョンと受講目的を一致させる
- ☐ 組織の受講者選定基準を理解し合意する
- ☐ 組織の配置ビジョンを理解し合意する

<育成>

- ☐ 特定行為研修受講に関する情報収集を行う
- ☐ 自施設からの支援を獲得する
- ☐ 組織内での修了看護師としての活動ビジョンを明確にする
- ☐ 学修継続のために同僚や先輩から情報収集する
- ☐ E-learning の受講環境を整備する
- ☐ 研修受講料の支援を獲得する
- ☐ 特定行為研修での学びを振り返り蓄積する

<配置>

- ☐ 組織の配置ビジョンを理解し自部署の配置の見通しを付ける
- ☐ 組織の修了看護師配置の目的を理解し合意する
- ☐ 部署からの役割期待を理解する
- ☐ 配置希望を表明する
- ☐ 部署での修了看護師としての活動ビジョンを明確にする

2. 第二の障壁を乗り越えるためのアクションリスト

第二の障壁を乗り越えるための管理チームのアクションリスト
＜活用＞ ☐ 修了看護師間で活動計画および課題を共有できる会議体を設置する ☐ 修了看護師がいろいろな看護師とペアになって活動できるように勤務体制を作る ☐ 修了看護師と受講候補生をペアにして活動できるように業務を調整する ☐ 勤務管理責任の部署を決定する ☐ 手順書を取り出しやすいように工夫する ☐ 手順書の発行方法を医師に周知する ☐ 修了看護師のこれからのキャリア発展を支援する ☐ 修了看護師の役割を明確にし、文書化する
＜普及＞ ☐ 修了看護師が複数配置されたときの師長の役割を明確にする ☐ 修了看護師の活動環境を整備する ☐ 修了看護師の活動に関する記録報告体制を整備する ☐ 修了看護師の活動ビジョンを共有する機会を作る ☐ 修了看護師の管理を行う会議体を設置し運営する ☐ 配置部署を再検討し必要に応じて異動を検討する ☐ 定期的に手順書を修正するための会議体を設置し運営する ☐ 特定行為実施システムを組織的に確立する ☐ 特定行為実践の実績を記録集積し分析する ☐ 特定行為に関する情報共有の会議体を設置し運営する ☐ 組織としての活用ビジョンを更新する ☐ 修了看護師の実践範囲と権限の拡大を組織として承認する
＜周知＞ ☐ 修了看護師の業務内容を患者家族に説明する ☐ 執行部会議で修了看護師の活動が経営に貢献していることを説明する ☐ 修了看護師自身が執行部会議で説明する機会を作る ☐ 病院全体に修了看護師の活動内容を周知する ☐ 看護管理者会議で修了看護師の活動内容を説明する ☐ 師長から医師に手順書の発行の仕方を説明する ☐ 師長から医師に、修了看護師の医師にとってのメリットを説明する ☐ 師長から医師に特定行為の制度と種類を説明する ☐ 師長から医師に修了看護師の活動を説明する ☐ 管理者から職員に修了看護師の働き方を説明する ☐ 修了看護師の活動発表の機会を作る ☐ 修了看護師の活動説明媒体を作り配布する ☐ 修了看護師の識別のための用具を作る

第二の障壁を乗り越えるための医師のアクションリスト

<活用>

- ☐ 医師として看護実践を理解する
- ☐ 修了看護師の背景理解に基づいた支援を行う
- ☐ 修了看護師の特定行為を含む実践能力を評価する
- ☐ 修了看護師との信頼関係を構築する
- ☐ 特定行為実施に関する医師の責任を明確にする
- ☐ 特定行為実施に関する修了看護師の責任を明確にする
- ☐ 修了看護師に医師として期待する役割を明確にし、医師間、修了看護師間で合意する
- ☐ 修了看護師の業務時間に配慮し業務予定を共有する
- ☐ 手順書発行のルールをつくり組織的に合意を得る
- ☐ 医師の具体的指示のルールを作り組織的に合意を得る
- ☐ 医師の包括的指示のルールをつくり組織的に合意を得る
- ☐ 修了看護師への継続的な指導機会を確保する
- ☐ 特定行為実践に関する OJT の機会を確保する
- ☐ 修了看護師と医師の連携を強化する
- ☐ 修了看護師の役割拡大を支援する

<普及>

- ☐ 修了看護師の実践能力を継続的に評価する
- ☐ 修了看護師の実施範囲を再検討し拡大する
- ☐ 修了看護師の役割を拡大し権限を委譲する
- ☐ 手順書ルールを改定し簡略化する
- ☐ 修了看護師と共同して手順書を改定する
- ☐ 配置ビジョンを再検討し組織的に合意する
- ☐ 修了看護師のキャリアを医師として支援する
- ☐ 修了看護師のモチベーション維持を医師として支援する

<周知>

- ☐ 医師から患者家族に修了看護師の役割を説明する
- ☐ 医師から医師に修了看護師の役割および実践能力について説明する
- ☐ 研修指導経験者を増やすことで制度の周知を図る
- ☐ 修了看護師と協働実践する医師を増やすことにより修了看護師の役割を周知する
- ☐ 医師への活動評価アンケートを行うことで周知する
- ☐ 学会で修了看護師の活動実践、効果を発表する

第二の障壁を乗り越えるための修了看護師としてのアクションリスト

<活用>

- ☐ 特定行為実践の対象となる患者を把握する
- ☐ 患者家族への病状説明ルールを作成する
- ☐ 特定行為実践のための業務調整を行う
- ☐ 特定行為実施の可否を判断する
- ☐ 包括的指示実施の可否を判断する
- ☐ 診断指示エラーを防止する
- ☐ 具体的指示による診療の補助を行う
- ☐ 手順書に沿った特定行為を実践する
- ☐ 特定行為の実施を記録する
- ☐ 包括的指示による実践を行う
- ☐ 医師に検査、診断、治療に関する提案を行う
- ☐ 研修医への指導を行う
- ☐ 特定行為実施に関する医師からのサポートを獲得する
- ☐ 医師間のコーディネーションを行う
- ☐ 医師からのコンサルテーションを受ける
- ☐ 看護師に治療根拠と意図を説明する
- ☐ 看護師に病状説明を行う
- ☐ 看護師からのコンサルテーションを受ける
- ☐ 看護師に診療の補助の OJT を行う
- ☐ 看護師への教育企画を開催し運営する
- ☐ 研修生への教育に参画する
- ☐ 看護師と協働する
- ☐ 修了看護師間の連携を強化する
- ☐ 多職種連携を展開する
- ☐ 医師業務を代行する
- ☐ 活動環境を改善する
- ☐ 修了看護師としての役割を明確にする
- ☐ 修了看護師としての活動範囲を明確にし、説明する
- ☐ 修了看護師としての成長を自己評価する

第二の障壁を乗り越えるための修了看護師としてのアクションリスト（普及）

<普及>

- ☐ 修了看護師として活動範囲を拡大する
- ☐ 修了看護師の役割を拡大する
- ☐ 修了看護師としての活動ビジョンを更新する
- ☐ 手順書を医師と共同して改定する
- ☐ 修了看護師同士の情報交換を行う機会を作る
- ☐ 修了看護師と医師の連携を強化する
- ☐ 修了看護師による修了看護師への教育を行う
- ☐ 修了看護師による修了看護師マネジメントを行う
- ☐ 医師と看護師の連携を支援する
- ☐ 多職種連携に貢献する
- ☐ 他の職種への教育・指導を行う
- ☐ 医師と看護師の信頼関係を強化する
- ☐ 複数の修了看護師の活動ビジョンを作成する
- ☐ 修了看護師間の連携を強化する
- ☐ 他のスペシャリスト看護師と連携を推進する

<周知>

- ☐ 修了看護師から患者家族に役割機能を説明する
- ☐ 修了看護師から医師に活動を説明する
- ☐ 修了看護師本人から部署看護師に説明する
- ☐ 新入職員に活動を周知する
- ☐ 修了看護師活動発表の場を確保する

岐阜県看護協会 2022 年 12 月作成

（「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」（研究代表：千葉大学教授 酒井郁子氏）を基に許可を得て作成）